

～生徒数最多・全国入賞者数最多～ 驚異の道場経営・極意皆伝



道場経営の成功法則

養正館館長
渡辺貴斗

【第32回】 自分の道場を建てる！（4）

道場設計の工夫（1）

道場経営を専門とするならば、昭和の時代と違って、小学生をターゲットとするのが現実的です。実際は幼児～中学生の幅があり、彼らが使うことも考えた設計上の工夫が要求されます。また、専門で収入を安定させるためには、200～300名規模まで生徒数を増やす必要があり、300名にも対応した道場でなくてはなりません。私が養正館道場を建築したときの設計上の工夫につき、数回に渡り紹介して参ります。

★男子トイレは多めに

まずトイレについてです。先代の父の道場は、洋式トイレ1基で男女兼用でした。休憩のたびにいつも子供たちは並んで渋滞していました。そこで、新道場建築するときは、男子用小便器2基、洋式便器2基（1基は女子専用、1基は男女兼用）としました。5年ほどして生徒数が倍増したことを機に、男子用小便器をさらに1基追加し全部で3基としまし



写真1

た（写真1）。元々あった2基をいったん壁からはずして、その壁面に少し詰めて3基とする大きな工事となりました。初めから3基にすればよかったと、強く後悔しております。

また、男子トイレは、床におしっこをまき散らす園児がいるので、乾式の清掃性を重視したものにしました。毎日、拭くだけです。昭和世代なら誰でも知っている、勾配のついたタイルに排水溝が付いたものは、水を流せば掃除しやすいイメージがありますが、不衛生で滑りやすくおススメできません。

★洋式便座は小さめに

洋式トイレの便座の座面ですが、大人の大きいサイズですと、幼児はお尻が小さいので、穴に落ちてしまう可能性があります。かといって、幼稚園や保育園でよく見かける、ものすごく小さい便器のトイレがありますが、これですと中学生の体の大きい子供たちが使うには小さすぎます。そこで、量産型の中でも1番座面の小さいものにしました。これですと大人も問題なく使うことができます。大人と子どもが兼用できるファミリー便座です。

イマドキの子たちは、和式の使い方を知らない（見たことも無い）そうですので、間違っても和式だけにはしないでください。近頃、シャワートイレの値段もかなり下がってきました。便座が温かく、温水の出る最低限の機能が付いた最安品で良いので、ぜひシャワートイレをご選択ください。

★幼児が使える洗面台の高さ

次に洗面台です。洗面台の高さは、一般家庭の大人用は約 80cm ですが、これですと、幼児が届きません。そこで、踏み台が必要になりますが、踏み台は転倒する危険性があります。踏み台無しで蛇口に手が届く必要があります。3～4 歳は床から 45～50cm、5～6 歳は 50～55cm、小学校低学年は 55～60cm が、推奨される高さとしていますが、身長 175cm の中学生も洗面台を使います。

そこで、設計士と相談して、半分は 47cm、もう半分は 70cm のハイブリッド式にしました。低学年の方が多いため、高さ 47cm の方が横幅が広がっています。今のところ、快適に使用できております(写真 2)。本当は既製品のキレイな洗面台にしたかったのですが、予算が足りず、金属板を手作業で折り曲げた設計士苦肉の策となりました。既製品と違って、道場のサイズに寸法を合わせられるので、そのようなメリットもあります。

養正館では、一日 4 クラスで、タオルを 14 枚使います。手すりバーを取り付けて、7 枚のタオルを掛けます。2 クラス終わるころにはタオルがびしょりになるので、途中でもう一回新しいタオルに



写真2



写真3



写真4

交換しています。タオルが落ちやすいので、両側を洗濯バサミで留めています(写真 3)。

★洗面台の水栓に一考

幼児のために、水栓はレバー式が理想です。

予算の都合上、昔からある三角ハンドルの回転式(写真 2)を選択しましたが、しっかり閉めないと水がポタポタ漏れますし、閉めすぎると幼児は握力がなく開栓することができません。

そこで最近、YouTube で勉強して自分でレバー式に交換してみました(写真 4)。

弱い力でも開栓できますし、レバーが長い分、幼児でも手が届くようになりました。

PROFILE

■渡辺眞斗 TAKATO WATANABE

1968 年 4 月 20 日生まれ。7 歳から研修会副会長・渡辺貞雄(父)に師事。

2001 年に父の町道場を継ぎ、2006 年からコーチングを導入した指導法に切り替えると、2010 年に全少優勝者を早々に輩出。その後、2014 年 7 名、2015 年 7 名、2017 年 9 名など、1 道場からの「全少の全国最多入賞者数」を少なくとも 8 年連続で記録する。

1 道場に 380 名の道場生が在籍し、道場経営でも全国一を誇る。100 回以上続いた JKFan での連載「ZENSHO に行こう」で、空手キッズの指導にコーチング理論を導入し体系づけた空手界の第一人者。東京大学大学院博士号を持つ異色の指導者でもある。



空手道場 養正館 / 静岡県沼津市本町 11-12

Column

子供への声掛けと道場経営に役立つ！ 人生を変えるオススメ本！(第28回)

■細谷功著 『「具体⇄抽象」トレーニング 思考力が飛躍的にアップする 29問』★★★★★

本書は、具体と抽象をどのように使い分けるかで、効果的なコミュニケーションと問題解決を可能とする実践的ガイドブックです。さっそく空手指導で考えてみましょう。

道場で形指導をしているとします。回転して下段払いをする時、技がしっかりキマっている子が一人いました。みんなでその子をじっと観察したら、軸足に力が入っていることがわかりました。回転が終わる時、「軸足つまり後足に力を入れるとワザがキマる」ということをみんなで定義化しました。このような定義を作ることを抽象化といいます。今度は、「これと同じ動きが出てくるところを他の形でも探してみましょう」と発問すると、子供たちは一生懸命探し始めます。「先生、平安 5 段のここにありました」、「バッサイのこの部分に、後足をキメるところがありました」などと、どんどん意見が出てきます。これを具体化といいます。そしてもう一度、

「これらは共通した、同じ動きなので 1 つだけ練習すれば他の形も練習したことになるんですね。これで練習量がグッと減るね、おもしろいね」とみんなで確認します。

つまり、抽象化した定義を元に具体例をたくさん出したあと、それらを統合してもう一度抽象化し、さきほどの定義(=抽象)を確認したのです。このように、具体化と抽象化を絶えず行き来することで、子供たちの理解はより深まっていきます。具体的な説明をした方が丁寧だと考えがちですが、情報量が多すぎて消化しきれません。抽象化して話した方が理解しやすいこともあるのです。俯瞰して全体像をつかんだあとで、具体的な各論の話をすると、より理解が深まるからです。具体的な説明は誰でもできますが、抽象化する作業はひと工夫必要で、これこそが指導において絶大な効果を発揮するのです。